

家庭教育支援条例に基づく
支援施策の報告について

平成28年度



千曲市キャラクター ひめ
あん姫

千曲市

家庭教育支援条例に基づく 支援施策の報告について

千曲市家庭教育支援条例（平成27年千曲市条例第24号）第11条の規定により、
家庭教育支援施策に関する報告を提出します。

平成29年6月

千曲市長 岡田 昭雄

目 次

1	親としての学びを支援する学習機会の提供（第12条）	・・・	1
2	親になるための学びの推進（第13条）	・・・	4
3	人材養成（第14条）	・・・	6
4	家庭、学校等、地域住民等の連携した活動の促進（第15条）	・・・	9
5	相談体制の整備・充実（第16条）	・・・	14
6	広報及び啓発（第17条）	・・・	18
	平成28年度 家庭教育支援施策の一覧	・・・	20

1 親としての学びを支援する学習機会の提供（第12条）

○子育て応援アプリの構築 【こども未来課】

〈事業概要〉 子育て支援に関する情報を積極的に発信するためのスマートフォン向けアプリの開発
〈予算額〉 5,000,000円
〈主な取組と成果〉 アプリの構築にあたり、子育てサークルの代表者に要望を聞くことができた。対象者は、妊娠期から子育て世帯及び婚活者。 子育てサークルからの情報発信もできるような仕組みとし、子育て世帯が親しみやすく、利用しやすいアプリを構築した。
〈次年度の計画〉 構築したアプリの運用保守を行う。予算額259,200円

○保育園保護者講演会 【こども未来課（各保育園）】

〈事業概要〉 講演会を通して、子育てに関する学習、子どもの特性及び成長全般への理解を深め、子どもの理解を通しての親の支援の機会とする。
〈予算額〉 なし
〈主な取組と成果〉 各園ごとに年1回程度、ファミリーコンサートや講演会等を行った。 全保護者が参加できるよう、保育参観日に講演会形式で研修をした。 子どもを最大限に尊重するという、親としての受け止め方を学ぶことができた。また、仕事や子育てで疲れている保護者が講演を聞いて精神的にも元気になり、子育ての手掛かりを感じる等、前向きに考える姿勢が感じられた。
〈次年度の計画〉 保護者会の要望を考慮しながら、保育参観の中で継続して実施する。 予算なし

○冊子「入学に備えて」の改訂 **【教育総務課】**

<p>〈事業概要〉</p> <p>来入児の保護者に配布する「入学に備えて」の改訂。 就学前教育の充実のために、保護者の子育てに関する意識の高揚・変革を求める。また、千曲市子ども育成条例、家庭教育支援条例を周知する。</p>
<p>〈予算額〉</p> <p>80,000円</p>
<p>〈主な取組と成果〉</p> <p>保護者の教育力の向上のため、来入児保護者会の折に、来入児保護者に対して「入学に備えて」を配布し、就学前教育の重要性を知らせるとともに、子ども育成条例と家庭教育支援条例を周知した。</p> <p>現小学校低学年担任より、小学校入学までに育ておきたい基本的な生活習慣・しつけについて意見集約し、千曲市として就学前の子どもの16の目標を設定することができた。</p>
<p>〈次年度の計画〉</p> <p>長野県教育委員会「共育」クローバープラン推進委員会主催の「心の教育・長野フォーラム2017」の共催 保護者・地域・学校に対して、本フォーラムへの参加を呼び掛ける。 平成29年10月28日（土）13：30～16：30 更埴文化会館 予算なし</p>

○校長講話の実施、学校だより・家庭学習の手引きの発行

【教育総務課（各学校）】

<p>〈事業概要〉</p> <p>保護者に対して、自己肯定感を育む子育て、基本的な生活習慣を身につけること、家庭学習の習慣化等について啓発をする。</p>
<p>〈予算額〉</p> <p>なし</p>
<p>〈主な取組と成果〉</p> <p>学校により内容や回数は異なるが、年間を通して、学校だより、校長講話を利用して情報提供を行った。</p> <p>保護者の家庭教育に対する意識の変革を少しずつ図ることができている。</p>
<p>〈次年度の計画〉</p> <p>引き続き、保護者の意識の変革を図る。予算なし</p>

○家庭のしつけ講座 【生涯学習課】

<p>〈事業概要〉</p> <p>小中学校等において、児童期・思春期等の子どもをもつ保護者を対象に、家庭教育に関する講演会等を実施する場合、講師謝礼の一部を助成する。</p>
<p>〈予算額〉</p> <p>40,000円</p>
<p>〈主な取組と成果〉</p> <p>小学校2校でPTA講演会を開催した際、講師謝礼の一部を助成した。 1講座、一律8,000円</p>
<p>〈次年度の計画〉</p> <p>引き続き、実施するとともに、当事業の周知を行う。予算額40,000円</p>

2 親になるための学びの推進（第13条）

○小・中学生及び高校生との交流 【こども未来課（各保育園）】

〈事業概要〉 小・中学生及び高校生が保育園を訪問し、園児と一緒に遊んだり、保育の体験学習をすることで、将来親になることや子育ての楽しみを感じてもらう。
〈予算額〉 なし
〈主な取組と成果〉 全ての園で職場体験学習等を随時実施している。 市内の小学5年生及び中学2年生の職場体験学習、高校3年生の就学体験を実施した。依頼により実施するため、園により実施回数は異なる。 学生には保育職場についての理解ができるとともに、将来親になる楽しみを感じてもらうことができた。また、園児との関わりにより、子育ての大変さを知り、保育士になりたい思いを高める機会となった。園児も生徒・児童とのふれあいを楽しんでいた。
〈次年度の計画〉 引き続き実施する。予算なし

○総合的な学習、道徳、家庭科学習等の実践 【教育総務課（各学校）】

〈事業概要〉 学校の学習の中に「親になるための学び」がどのように位置づけられているか調査する。
〈予算額〉 3,547,000円（学校交付金）
〈主な取組と成果〉 年度末に、市内13の小中学校に対して、学校の学習の中に「親になるための学び」が、どのように位置づけられているか調査し、家庭教育支援の内容は、多岐にわたっていることが明らかになった。
〈次年度の計画〉 年度当初教職員に対して、千曲市の家庭教育課題や必要とされる学びの内容について調査し、学習の中に位置づけられている「親になるための学び」を整理する。「親になるための学び」として効果的な授業等の決め出しをする。 予算額3,387,000円（学校交付金）

○家庭教育講座 【生涯学習課（各公民館）】

〈事業概要〉 親子で参加でき、触れ合う場をつくり、家庭を支援する講座づくり
〈予算額〉 140,000円
〈主な取組と成果〉 親子での活動の場や学びあう場を設定し、こども料理教室、親子お菓子づくり講座等、各種講座を実施した。 主に小学生を対象に、料理教室や、茶道教室を開催し、大変好評だった。 実施は、年20講座。
〈次年度の計画〉 今年度同様に、市民の求める講座内容や講師を選定し、事業を行う。 予算額160,000円

○人権副読本「あけぼの」配布 【人権政策課】

〈事業概要〉 豊かな人権感覚を身につけた大人になってもらうための教育の一環として、市内全ての小中学校へ年代に即した人権教材副読本「あけぼの」を配布する。
〈予算額〉 951,000円
〈主な取組と成果〉 4月に全小中学校に配布。低学年482冊（1年生）、中学年563冊（3年生）、高学年538冊（5年生）、中学生602冊（1年生）、教師手引書71冊。 「あけぼの」は、長野県同和教育推進協議会が研鑽を重ね、改訂をしている教材であり、一つ一つの題材を吟味し、新たな教材と差し替えるなど、スキルアップを図るための教材が盛り込まれている、現状に適応した教材を提供することができた。また、本年度より、題材や教材を扱う際の配慮事項や指導事例なども載っている教師用の手引書も配布した。 各学校での人権教育の教材として活用している。
〈次年度の計画〉 引き続き配布を行う。継続した配布により、副読本が全児童・生徒の手に行き渡り、学校現場で活用することができる。予算額945,000円

3 人材養成（第14条）

○保育実技研修会・講演会 【こども未来課（保育園）】

〈事業概要〉 保育士の資質向上・専門性の充実のための研修会
〈予算額〉 なし（ちくま保育協会費より支出）
〈主な取組と成果〉 保育士の人材育成のため、保育従事者を対象とした研修会、実技研修、講演会を年5回実施。他県の保育研究大会、地域子育て塾、関係機関主催の各種研修会への参加を年10回実施した。 支援児への支援の仕方、子どもの実態に合わせた保育、育ちを支える保育環境などを研修し保育に実践することができている。
〈次年度の計画〉 引き続き、実施する。予算なし

○小・中学生及び高校生との交流（再掲 第13条）【こども未来課（各保育園）】

〈事業概要〉 小・中学生及び高校生が保育園を訪問し、園児と一緒に遊んだり、保育の体験学習をすることで、将来親になることや子育ての楽しみを感じてもらう。
〈予算額〉 なし
〈主な取組と成果〉 全ての園で職場体験学習等を随時実施している。 市内の小学5年生及び中学2年生の職場体験学習、高校3年生の就学体験を実施した。依頼により実施するため、園により実施回数は異なる。 学生には保育職場についての理解ができるとともに、将来親になる楽しみを感じてもらうことができた。また、園児との関わりにより、子育ての大変さを知り、保育士になりたい思いを高める機会となった。園児も生徒・児童とのふれあいを楽しんでいた。
〈次年度の計画〉 引き続き、実施する。予算なし

○市相談支援関係者連絡会議研修会 【教育総務課】

<p>〈事業概要〉</p> <p>不登校生・発達障がいのある児童生徒への支援方法について、学校、保育園、行政が連携した適切な対応ができるようにし、家庭を支援する。</p>
<p>〈予算額〉</p> <p>90,000円</p>
<p>〈主な取組と成果〉</p> <p>教職員・保育士・関係市職員を対象に研修を実施</p> <ul style="list-style-type: none">・5月17日講演「不登校の理解と対応～複雑化する背景要因と連携～」(玉井邦夫大正大学教授)・12月1日シンポジウム「不登校生の未来」(社会福祉法人「森と木」岸田隆氏、長野翔和学園中村朋彦氏) <p>研修により教職員・保育士・関係市職員の力量を高め、適切な支援をすることによって家庭・保護者の困り感を少しずつ減らしている。</p>
<p>〈次年度の計画〉</p> <p>引き続き、研修により教職員・保育士・関係市職員の力量を高め、子ども・保護者に適切な支援を行う。</p> <p>平成29年5月16日(火)玉井邦夫大正大学教授を招き、教職員・保育士・関係市職員を対象に、発達障がい・不登校に関わる研修会を実施する。</p> <p>予算額90,000円</p>

○青少年健全育成の推進 【生涯学習課】

<p>〈事業概要〉</p> <p>各地区・支部の育成会、子ども会活動等の更なる充実と活性化のため、地域の大人は子ども達の主体性の育成に役立つ指導のあり方等を考えながら、また、子ども達はリーダーとして主体的に活動するために、必要な知識・技能を親子が一緒に身につける。</p>
<p>〈予算額〉</p> <p>273,000円</p>
<p>〈主な取組と成果〉</p> <p>リーダー研修会の開催</p> <p>各支部子ども会の6年生、地区育成会役員、支部育成会役員を対象に、宿泊体験研修、レクリエーション研修、子ども会行事の企画等を1泊2日の日程で行った。(2回開催)参加者：子ども計142名、指導者計102名</p>
<p>〈次年度の計画〉</p> <p>引き続き、開催予定。予算額273,000円</p>

○学校教職員対象人権研修会 【人権政策課】

<p>〈事業概要〉</p> <p>学校教育における人権教育の一層の充実を図るため、市内小中学校教職員対象の研修会を開催する。</p>
<p>〈予算額〉</p> <p>20,000円</p>
<p>〈主な取組と成果〉</p> <p>6月7日にNPO人権センターながの事務局長高橋典男さんを講師に迎え、同和問題を中心に研修会を実施した。</p> <p>市内小中学校教職員 参加者約70名。</p> <p>参加された教職員の皆さんからは「依然として残る部落差別の現状の一端を聴き、差別や偏見に対する学習をしっかりと進めたい。」という声が聞かれた。</p>
<p>〈次年度の計画〉</p> <p>平成29年6月13日に北信教育事務所教育指導主事小島豪さんを講師に研修会を開催予定。予算額20,000円</p>

4 家庭、学校等、地域住民等の連携した活動の促進（第15条）

○地域の高齢者との交流 【こども未来課（各保育園）】

<p>〈事業概要〉 園児がサロン等の地域の高齢者の集まりの場へ出向き、高齢者との交流を通じ、思いやりの心を育てる。</p>
<p>〈予算額〉 なし</p>
<p>〈主な取組と成果〉 依頼のあったサロンへ出向き、歌やリズムの発表ふれあい遊びを通して、地域の高齢者と交流した。（雨宮保育園 年3回、屋代保育園 年1回） 核家族世帯の園児が多い中、高齢者との触れ合いにより、相手を思いやり、いたわりの心が育っている。また、高齢者にとっても良い刺激となっている。</p>
<p>〈次年度の計画〉 引き続き、交流の機会をもつ。予算なし</p>

○地域で支える“ひとり親家庭”サポート事業 【こども未来課】

<p>〈事業概要〉 官民協働で、ひとり親を中心とした貧困家庭の子どもに対する学習支援、食事の提供及び相談支援等を地域で行うとともに、継続的に支援を実施する体制を構築する。（平成29年度新規事業）</p>
<p>〈主な取組と成果〉 平成28年度の協働事業提案制度で採択され、平成29年度実施に向け準備体制を整備した。</p>
<p>〈次年度の計画〉 受託3団体と協働で事業を推進する。 開催場所は、更埴川東地区、更埴川西地区、戸倉上山田地区それぞれで開催する。 開催回数等は、今後団体と詳細について打ち合わせをする。 予算額2,300,000円</p>

○コミュニティスクールの推進 【教育総務課（各学校）】

〈事業概要〉 これまでの学校と地域が連携して子どもを育てる取組を土台として、地域住民が学校運営参画、学校支援、学校評価を一体的・持続的に実施している仕組みを整える。
〈予算額〉 992,000円（学校交付金）
〈主な取組と成果〉 長野県教育委員会を招き、コミュニティスクール推進にかかわる研修を実施した。 総合教育センター・教育総務課職員が運営委員会に参加し、課題を共有し助言した。 市内の小中学校全13校のうち12校で運営委員会が立ち上がった。
〈次年度の計画〉 市内すべての学校で運営委員会を立ち上げ、家庭、地域と学校で連携して子どもを育てる仕組み、地域に開かれた信頼される学校づくりを一層推進する。 予算額692,000円（学校交付金）

○副学籍制度の推進 【教育総務課（各学校）】

〈事業概要〉 特別支援学校に在籍する児童生徒が、千曲市立の学校に副学籍を置くことにより、地域の子どものとの交流を促進する。（平成29年度新規事業）
〈次年度の計画〉 副学籍を希望した児童生徒が、それぞれの計画に基づいて地域の学校と交流する。また、地域行事に参加する。予算なし

○放課後子ども教室運営 【生涯学習課】

〈事業概要〉 放課後に小学校の余裕教室を活用して、子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域の方々の参画を得て、子どもとともに勉強やスポーツ、交流を通して、子ども達が地域社会の中で心豊かで健やかに育つ環境づくりを推進する。
〈予算額〉 1,085,000円
〈主な取組と成果〉 市内1つの小学校で毎週水曜日の放課後に実施。児童の参加率もよく、地域スタッフや大学生スタッフと様々な活動を通して交流をした。
〈次年度の計画〉 引き続き、教室運営を行う。予算額1,082,000円

○青少年健全育成の推進（再掲 第14条） 【生涯学習課】

〈事業概要〉 各地区・支部の育成会、子ども会活動等の更なる充実と活性化のため、地域の大人は子ども達の主体性の育成に役立つ指導のあり方等を考えながら、また、子ども達はリーダーとして主体的に活動するために、必要な知識・技能を親子が一緒に身につける。
〈予算額〉 273,000円
〈主な取組と成果〉 リーダー研修会の開催。 各支部子ども会の6年生、地区育成会役員、支部育成会役員を対象に、宿泊体験研修、レクリエーション研修、子ども会行事の企画等を1泊2日の日程で行った。（2回開催）参加者：子ども計142名、指導者計102名
〈次年度の計画〉 引き続き、開催予定。予算額273,000円

○補導委員の活動による支援 【生涯学習課】

〈事業概要〉 少年補導委員による巡回活動を通して、次世代を担う青少年の非行防止と健全育成に向けた取組を推進する。
〈予算額〉 2,934,000円
〈主な取組と成果〉 街頭補導活動（更埴地区 月10回、戸上地区 月6回）、環境チェック活動（更埴地区 年5回、戸上地区 年4回）、学校ごとにPTAとの合同補導活動（市内13校 年2回）等により、青少年の健全育成の推進に取り組んだ。
〈次年度の計画〉 引き続き、取組を推進する。予算額2,471,000円

○学校人権教育活動 【人権政策課】

〈事業概要〉 学校での人権学習について、それぞれの学校独自の人権教育や保護者・地域住民が参加する事業等を実施してもらうための活動費の補助を行う。
〈予算額〉 260,000円
〈主な取組と成果〉 6月に市内全ての小中学校（13校）に活動補助金20,000円を交付した。各小中学校ともそれぞれ工夫をこらした人権教育を進めている。特にPTAにおける人権研修会については、補助金等を活用し、全ての学校で実施した。
〈次年度の計画〉 各学校の実情にあわせ、人権研修会等を開催する。 引き続き、補助金を交付する。予算額260,000円

○郷土食の普及推進 【農林課】

<p>〈事業概要〉</p> <p>市内の食文化に精通し実績のある「かけはしの会」に小中学校で郷土食講習会の開催を委託。講習会を開催することで、子ども達に地域の食文化や農村の暮らしを伝承する機会とする。</p>
<p>〈予算額〉</p> <p>130,000円</p>
<p>〈主な取組と成果〉</p> <p>市内小中学校で郷土料理講習会を37回実施した。(小学生約700人、中学生約130人が参加)</p> <p>小学校の放課後クラブや学校の授業で開催。ニラせんべい・おやき・おとうじ等の作り方を教えた。講習会を行うことにより、子供たちが郷土食の作り方、大切さを学び、郷土食を見つめなおすきっかけになった。</p>
<p>〈次年度の計画〉</p> <p>引き続き、講習会を開催する。予算額130,000円</p>

5 相談体制の整備・充実（第16条）

○家庭児童相談室運営 【こども未来課】

〈事業概要〉 家庭相談員を配置し、家庭や子育てに関する相談に応じる。
〈予算額〉 4,268,000円
〈主な取組と成果〉 関係機関等と連携をとり実施した。
〈次年度の計画〉 引き続き、関係機関等と連携して実施する。予算額4,275,000円

○母子家庭等福祉相談 【こども未来課】

〈事業概要〉 ひとり親家庭の自立支援のため、母子・父子自立支援員を配置し、各種相談に応じる。
〈予算額〉 6,821,000円
〈主な取組と成果〉 関係機関等と連携をとり実施した。
〈次年度の計画〉 引き続き、関係機関等と連携して実施する。予算額8,091,000円

○地域子育て支援拠点 【こども未来課（子育て支援センター）】

〈事業概要〉 子育て支援センターに相談員を配置し、子育てに関する相談等を実施する。
〈予算額〉 12,068,000円
〈主な取組と成果〉 関係機関等と連携をとり実施した。
〈次年度の計画〉 引き続き、関係機関等と連携して実施する。予算額12,053,000円

○家庭相談・児童相談 【こども未来課（各保育園）】

〈事業概要〉 子育てに悩む保護者、個々のニーズに合わせた相談、支援
〈予算額〉 なし
〈主な取組と成果〉 随時、必要に応じて相談の機会を設けたり、時には専門機関につなげたり、園解放時には、未就園児の保護者との話の時間を持つようにしている。 全園で年1～2回、個別懇談を実施し、育児相談は随時実施。個々の子に対する保育園での対応を職員で検討し、子どもの背景にある家庭の様子を理解しながら細やかな対応を行った。 保護者や専門機関との協力により、よりよい適切な支援ができた。
〈次年度の計画〉 引き続き、実施する。予算なし

○育児相談・支援会議 【こども未来課（各保育園）・福祉課】

〈事業概要〉 支援児への適切な援助、支援会議の実施
〈予算額〉 なし
〈主な取組と成果〉 全園で実施。相談回数人数は園により異なる。 支援児に対して、ニーズに合わせた教育相談・支援会議を実施した。 相談機関や専門機関と連携を図り、個々に対応を検討することにより、支援児の成長の助けとなり安心して生活できるようにしている。 専門機関(療育機関)との連携を密にすることで、子どもの成長が見られた。 また、保護者同席の支援会議を行うことで、保護者と園が同じ方向性を持って子どもに関わることができ、就学に向けてのスムーズな移行・支援を保護者との信頼関係を築きながら行えた。
〈次年度の計画〉 引き続き、園児への適切な援助を探り、支援する。予算なし

○母子保健事業 【健康推進課】

〈事業概要〉 母子保健法に基づく母性並びに乳幼児の健康の保持・増進を図るための保健指導、健康診査等の母子事業
〈予算額〉 57,913,000円
〈主な取組と成果〉 産婦・赤ちゃん訪問 388人、3か月・1歳6か月・2歳・3歳児健康診査 108回1,615人、7か月・10か月離乳食相談 48回765人、育児相談 24回783人、心理発達相談 104回169人、言語相談 10回28人、すくすく広場 21回218人、たまご教室（妊婦教室）12回70人 母子手帳交付、乳幼児健康診査等各種母子事業を通して子どもの成長・発達の確認及び相談支援を行い、保護者の育児不安の軽減を図ることができた。
〈次年度の計画〉 継続して事業を実施する。予算額58,151,000円

○教育相談の実施 【教育総務課】

〈事業概要〉 教育相談センターおよび教育相談室を設置し、保護者が子育ての悩み、不登校、学校でのトラブルなどの相談をし、安心して子育てができるように支援する。
〈予算額〉 6,840,000円（教育相談室人件費）
〈主な取組と成果〉 相談関係者が連携して支援に当たれるようにし、保護者や児童生徒の不安をより取り除く支援をした。 不登校、発達障がいに関わる支援及び学校生活に関わる支援をすることができた。 教育相談：教育相談センター計12件、教育相談室のべ873件
〈次年度の計画〉 引き続き、関係機関等と連携し、支援する。予算額7,200,000円

○青少年の生活相談 【生涯学習課】

<p>〈事業概要〉</p> <p>保護者が抱える子どもの生活や問題行動、いじめなどの悩み、非行防止に関する相談窓口の設置</p>
<p>〈予算額〉</p> <p>1, 109, 000円</p>
<p>〈主な取組と成果〉</p> <p>社会教育指導員を配置し、保護者が抱える子どもの悩みについての相談・支援を行う環境を整えている。</p>
<p>〈次年度の計画〉</p> <p>引き続き、環境を整備し、相談・支援を行う。予算額1, 109, 000円</p>

6 広報及び啓発（第17条）

○子育て応援アプリの構築（再掲 第12条） 【こども未来課】

〈事業概要〉 子育て支援に関する情報を積極的に発信するためのスマートフォン向けアプリの開発
〈予算額〉 5,000,000円
〈主な取組と成果〉 アプリの構築にあたり、子育てサークルの代表者に要望を聞くことができた。対象者は、妊娠期から子育て世帯及び婚活者。 子育てサークルからの情報発信もできるような仕組みとし、子育て世帯が親しみやすく、利用しやすいアプリを構築した。
〈次年度の計画〉 構築したアプリの運用保守を行う。予算額259,200円

○全国学力学習状況調査の児童生徒質問紙の家庭教育に関わる回答の分析

【教育総務課】

〈事業概要〉 家庭教育に関わる回答の分析により、千曲市の家庭教育の課題を探る。
〈予算額〉 なし
〈主な取組と成果〉 家庭教育の課題を明らかにするため、調査結果が出た10月より、全国・県との比較をした。千曲市の家庭教育のよさと課題が明らかになった。
〈次年度の計画〉 前年度との比較をし、経年変化を積み重ね、千曲市の家庭の課題と課題解決のための施策を明らかにする。予算なし

○家庭の日の啓発 【教育総務課（各学校）・生涯学習課】

〈事業概要〉 「家庭の日」（毎月第3日曜日）を意識し、家族の団らんを促進する。
〈予算額〉 なし
〈主な取組と成果〉 毎月、有線放送や育成センターだよりで広報を行った。
〈次年度の計画〉 引き続き、有線放送や育成センターだよりで広報する。 各学校の年間計画に「家庭の日」（毎月第3日曜日）を明記する。 予算なし

○育成センターだよりの発行 【生涯学習課】

〈事業概要〉 青少年の健全育成や非行防止活動の拠点のために設置された少年育成センターの活動を掲載した広報誌を毎月発行。
〈予算額〉 1, 236, 000円（社会教育指導員報酬を含む）
〈主な取組と成果〉 少年補導委員の巡回活動での様子や、子どもたちの将来の夢の作文、「家庭の日」の記事を掲載し、市民に向けて青少年の様子を周知した。
〈次年度の計画〉 引き続き、センターだよりを発行し、広く市民に周知を図る。 予算額1, 236, 000円

○パンフレットの配布及び説明 【生涯学習課・こども未来課】

〈事業概要〉 「家庭教育支援条例（平成28年4月1日施行）」及び「子ども育成条例（平成27年3月25日施行）」の広報活動。
〈予算額〉 なし
〈主な取組と成果〉 PTA総会（13校 各1回）、育成会関係（3回 各回約50名）、区長会連合会総会（1回）に出向き、パンフレットを配布及び説明を行った。 「家庭教育支援条例」パンフレットを全戸配布。（平成28年4月）
〈次年度の計画〉 引き続き、広報活動を行う。予算なし

平成28年度 家庭教育支援施策の一覧

1 親としての学びを支援する学習機会の提供（第12条）

事業名	担当課等
子育て応援アプリ構築	こども未来課
保育園保護者講演会	こども未来課（各保育園）
冊子「入学に備えて」の改訂	教育総務課
校長講話の実施、学校だより・家庭学習の手引きの発行	教育総務課（各学校）
家庭のしつけ講座	生涯学習課

2 親になるための学びの推進（第13条）

事業名	担当課等
小・中学生及び高校生との交流	こども未来課（各保育園）
総合的な学習、道徳、家庭科学習等の実践	教育総務課（各学校）
家庭教育講座	生涯学習課（公民館）
人権副読本「あけぼの」配布	人権政策課

3 人材養成（第14条）

事業名	担当課等
保育実技研修会・講演会	こども未来課（各保育園）
小・中学生及び高校生との交流（再掲第13条）	こども未来課（各保育園）
市相談支援関係者連絡会議研修会	教育総務課
青少年健全育成の推進	生涯学習課
学校教職員対象人権研修会	人権政策課

4 家庭、学校等、地域住民等の連携した活動の促進（第15条）

事業名	担当課等
地域の高齢者との交流	こども未来課（各保育園）
地域で支える“ひとり親家庭”サポート事業	こども未来課
コミュニティスクールの推進	教育総務課（各学校）
副学籍制度の推進	教育総務課（各学校）
放課後子ども教室運営	生涯学習課
青少年健全育成の推進（再掲 第14条）	生涯学習課
補導委員の活動による支援	生涯学習課
学校人権教育活動	人権政策課
郷土食の普及推進	農林課

5 相談体制の整備・充実（第16条）

事業名	担当課等
家庭児童相談室運営	こども未来課
母子家庭等福祉相談	こども未来課
地域子育て支援拠点	こども未来課（子育て支援センター）
家庭相談・児童相談	こども未来課（各保育園）
育児相談・支援会議	こども未来課（各保育園）・福祉課
母子健康事業	健康推進課
教育相談の実施	教育総務課
青少年の生活相談	生涯学習課

6 広報及び啓発（第17条）

事業名	担当課等
子育て応援アプリ構築（再掲 第12条）	こども未来課
全国学力学習状況調査の児童生徒質問紙の家庭教育に関わる回答の分析	教育総務課
家庭の日の啓発	教育総務課（各学校）・生涯学習課
育成センターだよりの発行	生涯学習課
パンフレットの配布及び説明	生涯学習課・こども未来課